

トップインタビュー

「地域に根づく、

皆さまの身近なパートナーでありたい」

北口建設工業株式会社

代表取締役 北口 隆広 氏

所在地 寝屋川市新家1丁目8番7号
 事業内容 総合建設業及び廃棄物処理業
 創業年月日 1954年2月 1963年4月(設立)
 社員数 54名(令和6年1月現在)
 資本金 5,000万円



☆会社の特色



我社は創業以来、環境事業、建設事業を通じて、地域に根差した企業活動を行い、60年以上に渡って、多くの経験と実績を積み重ねてまいりました。

現在は、総合建設業と産業廃棄物の収集運搬・処分、一般廃棄物の収集運搬の三つの能力を有しており、街の再開発から日常のごみ処理まで、総合的に支えられるのが当社の特色であり、強みです。この能力をさらに磨き、より一層、地域貢献できる企業になりたいと思います。

☆夢(将来像)

会社としては、ずっと残していきたいですが、同族経営にこだわってはいません。社員がずっとこの会社で働いて、生活をしていけるように、より良い形で継続していくことが夢といえば夢ですね。

コロナ前などは、もっと事業を拡大したいといった夢(野心)もありましたが、長きに渡るコロナ禍や、世界中で起こっている戦争や災害などによって私自身の考え方や人生観に変化が生じています。そんな時1月1日に能登半島地震が発生し、尚更考えが変わりました。このような状況で、夢や希望を語る事が申し訳ないような気持ちになっています。健康で仕事ができ、社員や私達がニコニコ笑い合っ生活できることが一番の贅沢なのでは…という考えになっています。

経営者は、会社をこうしたい、こうなりたいというビジョンを持つ必要があると思いますし、持っていますが、夢や希望を失っている方々が大量おられる中では、そういう内容を語る気持ちにならなくなっています。幸せの尺度は人々々であります。私は自分の尺度で「今日も一日幸せやったなあ」と思う経営をしていきたいという考えです。

☆誇れるもの

我社は、昔から社会(地域)貢献を積極的に行っています。各種団体へ加盟して様々な活動を行うことや、行政が実施するイベントや行事などへの協力については、地元に基づく

プロフィール

1966年6月生まれ、双子座、午年、B型。大学卒業後、寝屋川市役所へ就職、平成17年に北口建設工業(株)入社、平成26年代表取締役(父と2人の義理兄から引き継ぎ)に就任。

趣味はウォーキング(登山(初級))、ゴルフ、海外映画・ドラマ鑑賞。個人的な信条は「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり」、「情けは人の為ならず」。尊敬する人物は父(創業者)、目標の人物像は人に愛される、優しい、頼もしい人。家族は妻と子供2人(独立)。



企業として当然の責務だと考えております。

また、数年前からは、血液の不足が深刻な状況であるため、献血推進活動にも貢献させていただいております。当社社員に限らず、取引先、近隣企業にもご協力いただいております。

これからも地域密着型の会社として様々な社会(地域)貢献を続けてまいります。

☆こだわり

社員に基本として伝えていることは「誰にでも親切にしよう」ということです。

「親切」とは媚びを売るのではなくお客様に対して親身になって適切な対応をするということです。一生懸命にそのお客様のために時間と労力を使うことが、結果としてその後の仕事に繋がると思っています。

社員同士も同じです。何事も親身になって考えてあげることが大切です。「親切」とはそういうことであると思います。

☆大切なもの

社員は大切です。社員、社員の家族を含めた当社に関わるすべての方々が大切です。

何か事が起きた時、真っ先に立ち向かう気持ちでいようと心掛けています。「理想であって、かっこつけてる」と思われるかもしれませんが、そういう覚悟でいます。

☆税について

節税対策と言われますが、税金を払うことに対して、それ程アレルギーはありません。儲ければその分払うことは当然であります。勿論、税金はきちんと払っておりますが、ただ、果たしてこの方法で不公平はないのか、これで正解なのか、もっと他に方法があるのではないかと思うこともあります。

*インタビューの感想

お父様、義兄2人、北口社長様と、お父様からは30年後に事業を継承され、「父は私が会社を継ぐとは思ってなかったのです。私が継いだ時、父は亡くなっていましたから」とおっしゃっていました。会社を継いでみてお父様がやって来られたことの凄さが解り、改めて尊敬されているようです。北口社長様はインタビュー内で人に愛される、優しい、頼もしい人になりたいと言っておられましたが、私の印象もその言葉どおり、社員やご家族を思いやる優しい社長様に感じました。